



会 長 木 村 成 淑
幹 事 藤 田 敬 治

会長スローガン

「想えば叶う」

例会日／毎週月曜日 12:30～

例会場／トキハ会館 4F

TEL 097-532-0611

FAX 097-532-8386

Email : oita1985rc@mist.ocn.ne.jp

ホームページ : www.oita1985rc.jp



2015-16年度
国際ロータリーのテーマ

「世界への
プレゼントになろう」

R I 会 長
RI第2720地区ガバナー
大分第4グループガバナー補佐

K.R. ラビンドラン
野 田 三 郎
高 山 泰 四 郎

■ 本日のプログラム (10月5日)

12:30 点 鐘
会 食
ロータリーソング 「奉仕の理想」
ゲスト・ビジターの紹介 会 長 木 村 成 淑
会 長 の 時 間 会 長 木 村 成 淑
出 席 報 告 出席担当 西 岡 一 雄
幹 事 報 告 幹 事 藤 田 敬 治
委 員 会 報 告 「関係委員会」
ニコニコタイム 坂 本 肇
13:00 卓話「最近の銀行券受払動向」
秀島 弘高様 (日本銀行大分支店 支店長)

* 今週のお祝い

在 籍 記 念 日 大久保修身会員(9月29日:29年)

■ 第10回例会の記録 (9月28日)

卓話「プロフィールと自国の紹介及び将来の展望」

グエン フォック クウイ トゥオンさん (米山奨学生)

・出席報告 (9月28日)

会 員 総 数	14名 (うち名誉会員 1名)
9 月 28 日	
出 席 免 除	2 名
出 席 会 員 数	8 名
出 席 率	61.54 %
ゲ ス ト	2 名
ビ ジ タ ー	0 名
9 月 7 日	
修 正 出 席 率	78.57 %

■ 次週の例会 (第12回 10月19日)

会員増強について 西岡一雄委員長

ロータリーソング

【奉仕の理想】

奉仕の理想に集いし友よ めぐる歯車いや輝きて
御国に捧げん我等の業 永久に栄えよ
望むは世界の久遠の平和 我等のロータリー

会長の時間 (10月5日)

会 長 木 村 成 淑

10月はロータリーにおいては「経済と地域社会の発展月間」となっております。大分及び日本の経済について日々ニュース番組で様々な事象が報告されております。

そこで、今日は、大分県出身の日本経済をリードした先達についてお話ししてみます。多くの県出身の有名な経済人は多いですが、まず井上準之助氏(1869-1931)について語ります。氏は明治を迎えた2年3月25日に日田郡大中島村(日田市大肥町)に生まれました。生家は代々庄屋で、清酒「角の井」で有名な井上酒造です。中学時代に急性リウマチと心臓を患い、長期療養生活を過し、仙台第二高等学校、東京帝国大学英法科を卒業し、日本銀行に入りました。日本銀行時代によりことと不遇なことが交互にあり、一時横浜正金銀行に入り、大正2年には頭取となりました。その後、大正8年に総裁として日銀に復帰しました。それは日本銀行生え抜きの初めての総裁でまた東京帝国大学卒業生としても初めてでした。その後、昭和2年3月の金融恐慌をはさんで日銀総裁と大蔵大臣とを交互につとめました。井上氏が全力を上げたのは金解禁でした。金解禁とは金、即ち金貨及び金地金の輸出許可制を廃止して金本位制に復帰することです。そうすれば発行通貨の量を勝手に膨張させて軍備増強することが不可能になり、軍国主義の台頭を防止することができると考えられたようです。しかし金解禁はその後の株式市場の大暴落から始まった世界恐慌により短い期間で終わってしまいました。その後、大蔵大臣等をつとめましたが、井上氏が野党となった民政党筆頭総務兼選挙委員長として活動中、昭和7年2月9日に右翼団体により殺害されました。現在も井上酒造には井上準之助の遺品を展示する清溪文庫があるそうです。

「経済と地域社会の発展月間」にちなみまして、大分県の先達の偉業を皆様といっしょに顕彰できたらよいと思います。

(辻野功氏の親子で読む大分偉人伝より一部引用させていただきました。)

ゲスト・ビジターの紹介

ゲスト : グエン フォック クウイ トゥオン
(米山奨学生 ベトナム出身)
白杵 徳二様 (日出RC)

こんにちは。ロータリアンの皆様。

この度、お忙しい中例会に参加いただき、誠にありがとうございます。爽やかな秋風が吹く季節となりましたが、いかがでお過ごしていますでしょうか？

自己紹介

まず、卓話をするにあたって、この例会で簡単に自己紹介をしたいと思います。私の名前はグエン フォック クウイ トゥオンです。出身はベトナムのフエというところから参りました。立命館アジア太平洋大学の卒業生であり、専攻はメディア研究です。



卓話内容の紹介

この卓話の中でスライドにもあるように3つのことについて話していきたいと思います。最初に出身地について、次に現在の大学生活について、最後にこれからの将来の進路について話したいと思います。この卓話で、私はたくさんの写真を使って説明しています。写真を通じて、僕の故郷や僕自身について知っていただければ幸いです。

出身地

まずこれが私の出身地であるベトナムです。ベトナムは東南アジアにあり、僕の出身のフエはベトナムの中部にあります。フエはベトナムの歴史、伝統文化の町と呼ばれています。

19世紀から20世紀にかけてベトナムの王様がフエを首都に決めました。フエの雅楽とフエの建造物がユネスコの世界遺産に登録されています。フエでの生活は京都のように静かでとても平和な町です。この写真は昔のベトナムの王様の宮殿です。この宮殿と町の構造は京都の町のように五目状になっています。これは宮殿の正門です。これは世界的に有名であり、フエのシンボルです。この門を通して、毎日、フエの王様が宮殿を出入りしていました。これは宮殿の中の様子です。右手に見える建物はこのフエ宮殿の中でもっとも高い建物です。フエではこの宮殿の景観をみださないようにするために、この一番高いフエ宮殿の建物より高い建物を建てるのが禁止されています。このような現地の人達の取り組みによって、現在でもフエの町や文化遺産が守られています。これはフエから少し離れた場所にあるフエの王様のお墓です。お墓の周りにはたくさんの兵隊や馬やゾウの彫刻がおりてあります。これらの彫刻は王様の魂がすこやかに眠れるように守っています。この写真はフエの町の一部です。フエの町は写真にあるフオン川という川によって大きく二つの地区分けられます。手前にある町は昔、フランスによって占領されていたので、フランス文化の影響を強く受けています。その一方で奥に見える、橋を渡った先にある町はあまりフランスの影響を受けておらず、多くのフエ宮殿などのベトナム文化が現在でも残っています。写真にあるこの橋はパリのエッフェル塔を設計した会社がつくりました。現在ではこの橋はフエのシンボルの一つになっています。このように伝統芸術や自然が多く残っているフエという町で私は育ちました。

これは私が学生時代に通っていた高校の上空からの写真です。これは今年の2月にベトナムに帰国し、母校に立ち寄った際にとった写真です。この写真からわかるように私の母校はフランスの影響を強く受けています。この学校はフランス人によって作られており、外観が良いことからベトナムでとても有名です。これは学校でとったクラスメートとの集合写真です。この女子生徒達が着ているのはアオザイという伝統衣装です。この学校ではアオザイは制服でもあるので、女子学生達は毎日、このアオザイを着て、登校しています。まとめると、私が育ったフエという町はたくさんの伝統文化や自然がたくさんあります。そのような環境で育った私はたくさんフエのいいところを知っています。そのためこれからもっとフエの良い所をみなさまに知ってもらうためにたくさん発信していきたいです。

家族

これはお父さんとお母さんの写真です。僕の顔は両親と似てますかね？みんなからは顔はお父さんに似ていおり、ほっぺたはお母さんに似ているとよくいわれます。これはお父さんとお母さんが働いているフエ外国語大学です。両親の専門は英語教育についてです。お父さんは先生なのでよく私の家には学生達が勉強するためにやってきます。そのお父さんが学生達に英語を教える姿をみて、私は大変関心をもちました。そのため将来はお父さんのように、教育機関につとめて、学生達に学問を教えたいとおもいます。

日本に留学する理由

これはみなさんも知っているとおもいますが東京タワーです。これは僕が日本に留学するということを決める前に、日本の外務省が行っているプログラムで日本に行ったときの写真です。私が日本の街に最初に訪れた時、日本の街はとても現代的でぎやかだと感じました。これはそのプログラムで東京の早稲田大学に訪れた時の写真です。この早稲田大学で私は教授から日本の教育システムについて詳しく説明をしてもらいました。そのため日本の教育について大変興味をもちました。これは日本の交番での写真です。私は日本の警察官と初めてあった時とても驚きました。日本の警官はほかの国の警官と違い、とても親切でまじめでした。私は日本がとても安全なのは日本の警官たちが市民にたいして親切で、犯罪がおこらないようにまじめにとり組んでいるからだとおもいます。これは日本の未来館に訪れた時にとった写真です。この未来館で、私はたくさんの日本の進んだ技術を見学しました。特に印象に残ったのはロボットと握手をした時です。このことから日本は大変技術が進んでおり、もっと日本の技術について知りたいと思いました。これはホームステイをした時にとった写真です。私はこのホームステイファミリーからたくさん、日本の文化について学ぶことができました。このように私は日本の教育や安全性、技術、文化についてたくさんの興味をもつようになりました。そのため私は日本の事、特に教育について、学びたいと思い日本に留学しました。そして、最終的にはその日本で学んだことを、将来の夢に活かしていきたいです。

幹事報告

- ・「大分いのちの電話」チャリティーコンサートのご案内。
- ・鬼怒川水害義捐金のお願いが届いております。

ニコボックス

★吉良昌一会員 (自主1口)

皆さんの元気な姿を見て、元気を頂きました。御礼を兼ねて1口。